

国際復興協力ワークショップ

～ジャワ島中部地震復興活動等への支援から学ぶ～

2009年12月17日(木)13:00～17:30

場 所: JICA兵庫 2階 ブリーフィング室
神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2

参加料 : 無料
使用言語 : 日本語

主 催: アジア防災センター(ADRC)
JICA兵庫/国際防災研修センター(DRLC)
国際復興支援プラットフォーム(IRP)

共 催: 神戸大学都市安全研究センター
国際連合地域発計画センター(UNCRD)兵庫事務所
兵庫県

参加者: 防災機関専門家
行政機関、NGO、県民等



Asian Disaster Reduction Center



JICA HYOGO/DRLC



International Recovery Platform



阪神淡路大震災から15周年の節目を迎えるにあたり、震災復興の過程で培った貴重な経験、教訓等を風化さないため、兵庫県、県民グループ、民間団体等による、「伝える」「備える」をテーマに震災の経験と教訓を発信する震災15周年記念事業が実施されています。

アジア防災センター(ADRC)、国際復興プラットフォーム(IRP)では、この震災15周年記念事業の一環として、阪神淡路大震災の経験・教訓等がどのように海外での復興支援活動に生かされているかを検証する目的で、下記により意見交換会を開催いたします。

事例として、ジャワ島中部地震の復興活動を取り上げ、神戸等に拠点を置く防災関係機関が各々の支援活動について報告し、意見交換を行うことを予定しています。それにより、関係者間で、海外での復興支援に際しての知見・教訓を共有するとともに、相互の連携を促進することを期待しています。

なお、当日はインドネシアとビデオ会議で結び、現地、ジョグジャカルタからの復興状況報告を予定しています。また、先日発生した西ジャワ州地震、西スマトラ地震の被災地への緊急支援の取組についても、関係機関の報告のなかで紹介されます。専門家のみならず、国際防災・復興協力に関心のある一般の方々の幅広いご参加もお待ちしております。

プログラム

- 13:00～13:20 開会あいさつ・基調報告(是澤 優 ADRC所長)
- 13:20～13:50 「ジョグジャカルタにおけるジャワ島中部地震被害からの復興に関する報告」(ビデオ会議)
(ヨコク・ワヒユ・スプロト ガジャマダ大学建築計画学科長、今井 良広 IRP事務局復興専門官)
- 13:50～14:40 各機関の取組事例報告Ⅰ(各15分程度)
「インドネシアにおける防災・復興支援のあり方について:パダン被災状況調査等を踏まえて」
(ADRC:荒木田 勝 主任研究員)
「住宅再建にあたっての安全な住宅基準の普及・啓発」(ビデオ会議)(JICAインドネシア:亀村 幸泰 JICA専門家)
「コミュニティラジオを核としたコミュニティ防災力向上のための活動」(JICA兵庫/DRLC:横川 太 参事役)
- 14:40～14:50 (休憩)
- 14:50～15:55 各機関の取組事例報告Ⅱ(各15分程度)
「復興調査・事業にあたってのガジャマダ大学との学術連携」(神戸大学都市安全研究センター:飯塚 敦 教授)
「子どもの家の建設等による母子保健・地域保健支援活動の展開」(神戸大学大学院保健学研究科:高田 哲 教授)
「義捐金の提供による小学校等の再建支援」(兵庫県・UNCRD:安藤 尚一 UNCRD兵庫事務所 所長)
「インドネシアにおける防災教育の推進:イザ!カエル・キャラバン!事業の展開」
(NPO法人プラス・アーツ:永田 宏和 理事長)
- 15:55～16:05 (休憩)
- 16:05～17:20 意見交換会(座長:是澤 優 ADRC所長)
(プレゼンター) 日比野 純一 氏(世界コミュニティラジオ放送連盟(AMARC)日本協議会代表)
藤林 似那 氏((特)SEEDS Asiaプログラムマネージャー)
- 17:20～17:30 閉会あいさつ(伊禮 英全 JICA兵庫所長/DRLC所長)

使用言語 : 日本語

参加料 : 無料



JICA 兵庫 2階 プリーフィング室

神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2

Tel: 078-261-0341(代)

連絡先

アジア防災センター(ADRC)

茨木(078-262-5540)ti-ibaraki@adrc.asia

国際復興支援プラットフォーム(IRP)事務局

森本(078-262-6042)morimoto@recoveryplatform.org